

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー

「ネットワーク設定」-「本体IPアドレス」

■本体名称

本製品の名称を設定します。

本体名称	
本体名称:	<input type="text" value="IP1000C"/>

本体名称……………

「Telnet」で本製品に接続したとき、ここで設定した本体名称を表示します。
(出荷時の設定：IP1000C)
※半角英数字(a～z、A～Z、0～9、-)を、任意の31文字以内で設定します。
なお、半角英数字以外の文字は、使用しないでください。
※「- (ハイフン)」を本体名称の先頭、または末尾に使用すると、登録できません。

■IPアドレス設定

本製品のIPアドレスを設定します。

IPアドレス設定	
①IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
②サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
③デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
④プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑤セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
<input type="button" value="⑥ 登録"/> <input type="button" value="⑦ 取消"/>	

- ①IPアドレス …………… 本製品のIPアドレスを入力します。 (出荷時の設定: 192.168.0.1)
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合は、[DHCPサーバー設定]項目の[割り当て開始IPアドレス]欄についてもネットワーク部を同じに設定してください。(P.4-14)
- ②サブネットマスク ……… 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。 (出荷時の設定: 255.255.255.0)
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- 【例: 「255.255.255.248」に設定する場合】**
同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲は、「192.168.0.0～192.168.0.7」になります。
この場合、端末に割り当てできるIPアドレスの範囲は、「192.168.0.2～192.168.0.6」です。
なお、端末に割り当てできないIPアドレスは次のようになります。
「192.168.0.0」: ネットワークアドレス
「192.168.0.1」: 本製品のIPアドレス
「192.168.0.7」: ブロードキャストアドレス
- ③デフォルトゲートウェイ …………… 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー

「ネットワーク設定」-「本体IPアドレス」

■ IPアドレス設定(つづき)

IPアドレス設定	
① IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
② サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
③ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
④ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑤ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
<input type="button" value="⑥ 登録"/> <input type="button" value="⑦ 取消"/>	

- ④ **プライマリーDNSサーバー** 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※ファームウェアの自動更新を使用する場合に設定が必要です。(P.4-126)
※使い分けたいアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力してください。
- ⑤ **セカンダリーDNSサーバー** [プライマリーDNSサーバー] (④)欄と同様に、本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※ファームウェアの自動更新を使用する場合に設定が必要です。(P.4-126)
※必要に応じて、使い分けたいDNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑥ **〈登録〉** [本体名称]項目、[IPアドレス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑦ **〈取消〉** [本体名称]項目、[IPアドレス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

■DHCPサーバー設定

本製品のDHCPサーバー機能を設定します。

DHCPサーバー設定

① DHCPサーバー:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
② 割り当て開始IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
③ 割り当て個数:	<input type="text" value="128"/> 個
④ サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
⑤ リース期間:	<input type="text" value="72"/> 時間
⑥ ドメイン名:	<input type="text"/>
⑦ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
⑧ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑨ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑩ プライマリーWINSサーバー:	<input type="text"/>
⑪ セカンダリーWINSサーバー:	<input type="text"/>

- ① **DHCPサーバー** …………… 本製品のDHCPサーバー機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、[DHCPサーバー設定]項目の②～⑪に設定された内容にしたがって、DHCPサーバーとして動作します。
- ② **割り当て開始IPアドレス** 本製品に接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。 (出荷時の設定：192.168.0.10)
- ③ **割り当て個数** …………… 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。 (出荷時の設定：128)
[割り当て開始IPアドレス] (②)欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、「0～128」(個)までです。
※128個を超える分については設定できませんので、手でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ **サブネットマスク** …………… [割り当て開始IPアドレス] (②)欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクです。 (出荷時の設定：255.255.255.0)
- ⑤ **リース期間** …………… DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの有効期間を時間で指定します。設定できる範囲は、「1～9999」(時間)です。 (出荷時の設定：72)
- ⑥ **ドメイン名** …………… 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバーが有線で接続する端末に通知するネットワークアドレスのドメイン名を127文字(半角英数字)以内で入力します。

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー

「ネットワーク設定」→「DHCPサーバー」

■ DHCPサーバー(つづき)

DHCPサーバー設定

① DHCPサーバー:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
② 割り当て開始IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
③ 割り当て個数:	<input type="text" value="128"/> 個
④ サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
⑤ リース期間:	<input type="text" value="72"/> 時間
⑥ ドメイン名:	<input type="text"/>
⑦ デフォルトゲートウェイ:	<input type="text"/>
⑧ プライマリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑨ セカンダリーDNSサーバー:	<input type="text"/>
⑩ プライマリーWINSサーバー:	<input type="text"/>
⑪ セカンダリーWINSサーバー:	<input type="text"/>

- ⑦ **デフォルトゲートウェイ** 本製品のDHCPサーバー機能を使用するときに、[割り当て開始IPアドレス] (②) 欄のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。
- ⑧ **プライマリーDNSサーバー** DNSサーバーを利用する場合は、DNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。
- ⑨ **セカンダリーDNSサーバー** [プライマリーDNSサーバー] (⑧) 欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- ⑩ **プライマリーWINSサーバー** WINSサーバーを利用する場合は、WINSサーバーアドレスを入力します。WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したい方のアドレスを入力します。
- ⑪ **セカンダリーWINSサーバー** [プライマリーWINSサーバー] (⑩) 欄と同様、WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- ⑫ **登録** [DHCPサーバー設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑬ **取消** [DHCPサーバー設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

「ネットワーク設定」→「DHCPサーバー」

■静的DHCPサーバー設定

固定IPアドレスを特定の端末に割り当てる設定です。

静的DHCPサーバー設定		
MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

静的DHCPサーバー設定 …

端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録します。

※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合に有効です。(P4-14)

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※DHCPサーバー機能により自動で割り当てられるIPアドレスの範囲外でIPアドレスを設定してください。

例：[DHCPサーバー設定]項目(P.4-14)で、[開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄が出荷時の設定の場合は、192.168.0.138以降のIPアドレスを設定してください。

※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。

■静的DHCPサーバー設定一覧

[静的DHCPサーバー設定]項目で登録した内容を表示します。

静的DHCPサーバー設定一覧		
MACアドレス	IPアドレス	
00-90-C7- <input type="text"/>	192.168.0.150	<input type="button" value="削除"/>

※画面の値は、登録例です。

〈削除〉……………

登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

「ネットワーク設定」-「スタティックルーティング」

■IP経路情報

本製品が送信パケットをどのルーター、またはどの端末に配送すべきかの情報を表示します。

①宛先	②サブネットマスク	③ゲートウェイ	④経路	⑤作成
127.0.0.1	255.255.255.255	127.0.0.1	lo0	host
192.168.0.0	255.255.255.0	192.168.0.1	mirror0	misc
192.168.0.1	255.255.255.255	192.168.0.1	lo0	host

※この項目には、現在有効な経路だけを表示します。

- ①宛先 ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスを表示します。
- ②サブネットマスク ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスに対するサブネットマスクを表示します。
- ③ゲートウェイ ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスに対するゲートウェイを表示します。
- ④経路 ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースを表示します。
 - ◎lo0 : ループバックアドレスを意味するインターフェース
 - ◎mirror0: インターフェースがLANの場合
- ⑤作成 どのように経路情報が作成されたかを表示します。
 - ◎static : スタティック(定義された)ルートにより作成
 - ◎misc : ブロードキャストに関するフレーム処理で作成
 - ◎host : ホストルートにより作成

4 設定画面について

4.「ネットワーク設定」メニュー(つづき)

「ネットワーク設定」-「スタティックルーティング」

■スタティックルーティング設定

パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

スタティックルーティング設定			
①宛先	②サブネットマスク	③ゲートウェイ	④
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	追加

※画面の値は、入力例です。

- ①宛先 …………… 対象となる相手先のIPアドレスを入力します。
- ②サブネットマスク ……… 対象となる宛先のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ゲートウェイ …………… パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④〈追加〉 …………… クリックすると、入力内容が登録され、[スタティックルーティング設定一覧]項目に表示します。

■スタティックルーティング設定一覧

[スタティックルーティング設定]項目で登録した内容を表示します。

スタティックルーティング設定一覧			
宛先	サブネットマスク	ゲートウェイ	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	削除

※画面の値は、登録例です。

- 〈削除〉…………… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

■他拠点通信設定

本製品の他拠点通信機能について設定します。

他拠点通信設定	
① 他拠点接続:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
② 他拠点通信モード:	<input checked="" type="radio"/> サブ <input type="radio"/> マスター
③ 自局ポート番号:	<input type="text" value="32000"/>

※説明のため、「他拠点接続」(①)欄を「有効」を設定したときに表示される画面を掲載しています。

- ① **他拠点接続** …………… 本製品の他拠点通信機能について設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、ほかのIP1000C(他拠点)と接続して、それぞれに登録されたIP100H、IP100FSが通信できるようになります。
※「RoIPサーバー設定」メニューの「他拠点接続」画面で、接続先の機器(他拠点)を登録します。
※他拠点通信機能を利用すると、ブリッジモードのVE-PG3と接続して通信できます。
- ② **他拠点通信モード** ……… 複数のIP1000C(他拠点)と接続するときの通信モードを、「サブ」、「マスター」から選択します。 (出荷時の設定：サブ)
本製品の他拠点通信機能では、1台のマスターに対して最大10台のサブ(他拠点)が接続できます。
※複数台のIP1000Cを他拠点接続し、グループや全体呼び出しをする場合、サブのIP1000CはブリッジモードのVE-PG3を他拠点として設定できません。
その場合は、マスターのIP1000Cに接続するように設定してください。
- ③ **自局ポート番号** …………… 音声信号を受信するためのポート番号を設定します。 (出荷時の設定：32000)
※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
※音声信号の送信元ポート番号としても使用します。
※ほかの機器で使用する自局ポート番号と重複しないように設定してください。

4 設定画面について

5.「RoIP通信設定」メニュー

「RoIP通信設定」

■VoIP拡張設定

本製品の通話音質について設定します。

※下記のように、TOS種別の設定ごとに[VoIP拡張設定]項目の内容が変更になります。

TOS種別：使用しない	<p>VoIP拡張設定</p> <p>①ジッターバッファ種別: <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒</p> <p>③TOS種別: 使用しない</p> <p>⑤登録 ⑥取消</p>
TOS種別：TOS	<p>VoIP拡張設定</p> <p>①ジッターバッファ種別: <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒</p> <p>③TOS種別: TOS</p> <p>④メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0</p> <p>⑤登録 ⑥取消</p>
TOS種別：Diffserv	<p>VoIP拡張設定</p> <p>①ジッターバッファ種別: <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒</p> <p>③TOS種別: Diffserv</p> <p>④メディア(RTP): DSCP 56 16進表示:E0</p> <p>⑤登録 ⑥取消</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別] (①) 欄で「スタティック」を選択したときに表示される内容です。

- ① **ジッターバッファ種別** パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎ **スタティック**
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ] (②) 欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎ **ダイナミック**
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- ② **ジッターバッファサイズ** 音声を受信したとき、音声データを蓄える時間を設定します。
(出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「20」(ミリ秒)～「1000」(ミリ秒)です。
設定する時間が短いほど遅延は少なくなります。音が途切れやすくなります。
- ※[ジッターバッファ種別] (①) 欄で「ダイナミック」を選択したときは、表示されない項目です。

4 設定画面について

5. 「RoIP通信設定」メニュー

「RoIP通信設定」

■ VoIP拡張設定(つづき)

TOS種別：使用しない

VoIP拡張設定

①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒

③TOS種別: 使用しない

⑤ 登録 ⑥ 取消

TOS種別：TOS

VoIP拡張設定

①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒

③TOS種別: TOS

④メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

⑤ 登録 ⑥ 取消

TOS種別：Diffserv

VoIP拡張設定

①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒

③TOS種別: Diffserv

④メディア(RTP): DSCP 56 16進表示:E0

⑤ 登録 ⑥ 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別] (①) 欄で「スタティック」を選択したときに表示される内容です。

- ③TOS種別 …………… 本製品のTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：使用しない)
- ◎使用しない
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

4 設定画面について

5.「RoIP通信設定」メニュー

「RoIP通信設定」

■ VoIP拡張設定(つづき)

TOS種別：使用しない

VoIP拡張設定

- ①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック
②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒
③TOS種別: 使用しない

⑤ 登録 ⑥ 取消

TOS種別：TOS

VoIP拡張設定

- ①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック
②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒
③TOS種別: TOS
④メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

⑤ 登録 ⑥ 取消

TOS種別：Diffserv

VoIP拡張設定

- ①ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック
②ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒
③TOS種別: Diffserv
④メディア(RTP): DSCP 56 16進表示:E0

⑤ 登録 ⑥ 取消

※上図は、[ジッターバッファ種別] (①)欄で「スタティック」を選択したときに表示される内容です。

④メディア(RTP) :…………… TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

⑤<登録> …………… [VoIP拡張設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

⑥<取消> …………… [VoIP拡張設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

■テナント設定

本製品に所属するIP100H、IP100FSをシステム上の管理目的で分けるテナント(例：警備会社/管理会社)を設定します。

※異なるテナント間では通信できません。

① **テナント番号** …………… 登録、または編集するテナントの番号を選択します。 (出荷時の設定：1)
最大10件のテナントを登録できます。
※登録したテナントごとの設定内容は、下記のメニューに表示され、編集できます。

- 「RoIPサーバー設定」メニュー
- 「無線機設定」メニュー
- 「設定グループ」メニュー(※「無線LAN」画面以外)
- 「呼出先設定」メニュー

② **テナント名** …………… [テナント番号](①)欄で選択したテナントの名前を、任意の半角31文字(全角15)以内で入力します。 (出荷時の設定：テナント1)
※テナント名は、下記のメニューの各画面上部に表示されます。

- 「RoIPサーバー設定」メニュー
- 「無線機設定」メニュー
- 「設定グループ」メニュー(※「無線LAN」画面以外)
- 「呼出先設定」メニュー

※上図は、表示例です。

③ **〈登録〉** …………… [テナント設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

④ **〈取消〉** …………… [テナント設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

■ブリッジ設定

本製品とVE-PG3がブリッジ接続するための設定です。

ブリッジ設定

① 番号:	<input type="text" value="1"/>
② 接続先アドレス:	<input type="text" value="172.22.69.251"/>
③ 接続先ポート番号:	<input type="text" value="21530"/>
④ 自局ポート番号:	<input type="text" value="21530"/>

※画面の値は、設定例です。

- ① **番号** ……………

ブリッジ接続するVE-PG3を登録するために、「1」～「20」の番号を選択します。最大20件まで登録できます。
- ② **接続先アドレス** ……………

接続する相手側のVE-PG3に設定されたIPアドレス、またはドメイン名を半角英数字(63文字以内)で設定します。
- ③ **接続先ポート番号** ……………

接続する相手側のVE-PG3に設定された[自局ポート番号]欄を設定します。
 ※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
 通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
- ④ **自局ポート番号** ……………

音声信号を受信するためのポート番号を設定します。
 ※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
 通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
 ※音声信号の送信元ポート番号としても使用します。
 ※ほかの機器で使用する自局ポート番号と重複しないように設定してください。
- ⑤ **〈登録〉** ……………

[ブリッジ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[ブリッジ設定一覧]項目に表示されます。
- ⑥ **〈取消〉** ……………

[ブリッジ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

■ブリッジ設定一覧

[ブリッジ設定]項目で登録した接続先の一覧です。

番号	接続先アドレス	接続先ポート番号	自局ポート番号	① 編集	② 削除
1	172.22.69.251	21530	21530	編集	削除
2	172.22.69.251	21532	21532	編集	削除
3	172.22.69.251	21534	21534	編集	削除
4	172.22.69.251	21536	21536	編集	削除

③
全削除

※画面の値は、設定例です。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[ブリッジ設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

■ブリッジグループ設定

ブリッジ接続したVE-PG3への経路をグループにすると、発信時にグループ内で空いている経路を選択できます。

ブリッジグループ設定

① 番号:

② 名前:

③ 所属するブリッジ

1	2	3	4	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

※画面の値は、設定例です。

- ①番号 ブリッジ接続する機器をグループにするために、「1」～「20」の番号を選択します。
最大20件まで登録できます。
- ②名前 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
- ③所属するブリッジ [ブリッジ設定]項目で設定した内容から、グループに登録するブリッジを選択します。
- ④〈追加〉 [ブリッジグループ設定]項目で設定した内容を追加するボタンです。
クリックすると、[ブリッジグループ設定一覧]項目に表示されます。
- ⑤〈取消〉 [ブリッジグループ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈追加〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

■ブリッジグループ設定一覧

[ブリッジグループ設定]項目で登録した接続先の一覧です。

番号	名前	所属するブリッジ	①	②
1	PG3最大ブリッジ数	1234	編集	削除
			③ 全削除	

※画面の値は、設定例です。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[ブリッジグループ設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

■他拠点接続設定

ほかのIP1000CやVE-PG3(ブリッジモード)と他拠点接続するための設定です。

他拠点接続設定

①番号:	<input type="text" value="1"/>	▼	
②名前:	<input type="text" value="営業所1"/>		
③接続先アドレス:	<input type="text" value="192.168.0.2"/>		
④接続先ポート番号:	<input type="text" value="32000"/>		

※画面の値は、設定例です。

- | | | |
|-----------|-------|---|
| ①番号 | | 他拠点接続するIP1000CやVE-PG3(ブリッジモード)を登録するために、「1」～「100」の番号を選択します。
最大100件まで登録できます。 |
| ②名前 | | 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。 |
| ③接続先アドレス | | 接続する相手側のIP1000CやVE-PG3(ブリッジモード)に設定されたIPアドレス、またはドメイン名を半角英数字(63文字以内)で設定します。 |
| ④接続先ポート番号 | | 接続する相手側のIP1000Cに設定された[自局ポート番号]欄を設定します。
※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。 |
| ⑤<登録> | | [他拠点接続設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[他拠点設定一覧]項目に表示されます。 |
| ⑥<取消> | | [他拠点接続設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。 |

4 設定画面について

7.「RoIPサーバー設定」メニュー(つづき)

「RoIPサーバー設定」-「他拠点接続」

■他拠点設定一覧

[他拠点接続設定]項目で登録した接続先の一覧です。

番号	名前	接続先アドレス	接続先ポート番号		
1	営業所1	192.168.0.2	32000	① 編集	② 削除
2	営業所2	192.168.0.3	32000	編集	削除

③ 全削除

※画面の値は、設定例です。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[他拠点接続設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

■近隣呼出接続設定

特定のエリアに限定して運用するための設定です。

近隣呼出機能を使用してIP100Hが全体/グループ呼び出しをすると、IP100Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内の無線アクセスポイントに接続しているIP100Hを呼び出します。

※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、無線アクセスポイント(エリア)を指定して呼び出します。

近隣呼出接続設定

① 番号:

② 名前:

③ BSSID

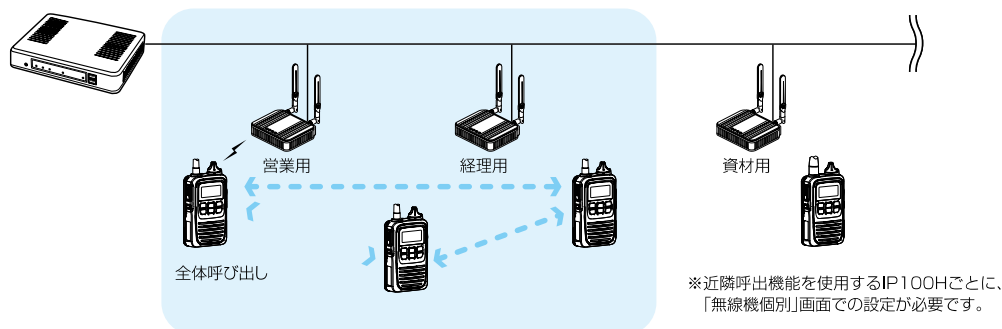
00-90-C7- 	00-90-C7- 		

④ ⑤

※画面の値は、設定例です。

- ①番号 近隣呼出機能を使用して呼び出すエリアを登録するために、「1」～「20」の番号を選択します。
最大20件まで登録できます。
- ②名前 任意の名称(例：1Fフロア)を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
- ③BSSID 近隣呼出機能を使用して呼び出すエリア内にある無線アクセスポイント(例：営業用と経理用)の[BSSID]を12桁(16進数)の半角英数字で入力します。
※同一エリア内に最大20件まで無線アクセスポイントを登録できます。
- ④<登録> [近隣呼出接続設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[近隣呼出接続設定一覧]項目に表示されます。
- ⑤<取消> [近隣呼出接続設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

【IP100Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



■アクセスポイント検索設定

同一ネットワーク上の無線アクセスポイントを検索して、近隣呼出機能を使用するエリアとして登録できます。

※2016年6月現在、対応する無線アクセスポイントは、AP-90M、AP-90MR、AP-900、AP-9000、SE-900（アクセスポイントモード時）です。

アクセスポイント検索設定

※アクセスポイント検索に対応した機種のみ検索できます。

①検索IPアドレス: ~ 検索

②	本体名称	IPアドレス	BSSID	③ 名前	④ 番号	⑤
<input type="checkbox"/>	AP-90M	192.168.1.1	00-90-C7-XXXX-XX		1	登録
<input type="checkbox"/>	AP-90M	192.168.1.2	00-90-C7-XXXX-XX		1	登録

⑥
選択登録

※画面の値は、設定例です。

- ① **検索IPアドレス** …………… 無線アクセスポイントを検索するIPアドレスの範囲を指定して、〈検索〉をクリックします。
検索された無線アクセスポイントは、一覧表に表示されます。
- ② **選択ボックス** …………… 検索された複数の無線アクセスポイントを登録するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ③ **名前** …………… [番号]欄で選択した番号に対するエリア名が表示されます。
※エリア名は、[近隣呼出接続設定]項目の[番号]欄で登録します。
- ④ **番号** …………… 登録するエリアを、[近隣呼出接続設定]項目の番号から選択します。
- ⑤ **〈登録〉** …………… [アクセスポイント検索設定]項目で検索された無線アクセスポイントを登録するボタンです。
- ⑥ **〈選択登録〉** …………… [選択ボックス](②)欄で選択した無線アクセスポイントを登録するボタンです。

■近隣呼出接続設定一覧

[近隣呼出接続設定]項目で登録した内容を表示します。

番号	名前	BSSID	①	②
1	営業所1	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
2	営業所2	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
4	営業所4	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
5	営業所5	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
6	営業所6	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
10	営業所10	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
11	営業所11	<small>XXXXXXXXXX-XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
12	営業所12	<small>XXXXXXXXXX-XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
13	営業所13	<small>XXXXXXXXXX-XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
20	営業所20	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
				③ 全削除

※画面の値は、設定例です。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[近隣呼出接続設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」—「無線機管理」

■無線機管理

本製品に登録しているIP100H、IP100FSの状態を確認して、必要に応じて、本製品からIP100Hを一斉に再起動できます。

無線機管理										
										⑦ レジスト状態の更新
① すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	②レジスト状態	③IPアドレス	④プレゼンス	⑤トークグループ	⑥位置情報	⑧バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP100H	営業1	0001	接続中	192.168.0.10	会議中	1	00-90-C7-■■■■■■■■	Ver. ■■■■
<input type="checkbox"/>	2	IP100H	営業2	0002	接続中	192.168.0.11	休憩中	1	00-90-C7-■■■■■■■■	Ver. ■■■■
<input type="checkbox"/>	3	IP100H	営業3	0003	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	4	IP100FS	営業4	0004	未接続	-	-	-	-	-

⑨ファームウェアの強制更新: 無効 有効

⑩無線機再起動:

※画面は、表示例です。

※設定内容が変更され、再起動が必要な場合、または再起動中は、太字で表示します。

- ① **選択ボックス** …………… 再起動させたいIP100Hを複数選択するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※IP100FSや「接続中」と表示されていないIP100Hは選択できません。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② **レジスト状態** …………… 本製品に登録したIP100H、IP100FSの接続状況について、「未接続」、「接続中」などを表示します。
※IP100Hの電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「未接続」を表示します。
※IP100FSから遠隔ロックされ、IP100Hが送受信できない、または送信できない状態では、「送受信禁止」、「送信禁止」を表示します。
※「再起動コマンド受信中」、「再起動コマンド受信成功」、「再起動コマンド受信失敗」、「再起動準備中」、「再起動中」、「ファームウェア更新中」、「ファームウェア更新失敗」、「ファームウェアダウンロード中」、「状態通知送信失敗」、「バッテリー不足により失敗」は、「無線機管理」画面でIP100Hの再起動を実行した場合に表示される内容です。
- ③ **IPアドレス** …………… 本製品に登録したIP100H、IP100FSが使用しているIPアドレスを表示します。
※IP100Hの電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「-」を表示します。
- ④ **プレゼンス**…………… 本製品に登録したIP100Hから送信されたステータス情報(例：会議中)を表示します。
※IP100Hから一度もステータス情報が送信されていない場合、またはプレゼンス機能が無効の場合は、「-」を表示します。
※お使いのWWWブラウザで表示画面を更新すると、最新のステータス情報を表示します。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機管理」

■無線機管理(つづき)

⑦ レジスト状態の更新

①	TRX番号	機種	名前	個別番号	②レジスト状態	③IPアドレス	④プレゼンス	⑤トークグループ	⑥位置情報	⑧バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP100H	営業1	0001	接続中	192.168.0.10	会議中	1	00-90-C7- 	Ver.
<input type="checkbox"/>	2	IP100H	営業2	0002	接続中	192.168.0.11	休憩中	1	00-90-C7- 	Ver.
<input type="checkbox"/>	3	IP100H	営業3	0003	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	4	IP100FS	営業4	0004	未接続	-	-	-	-	-

⑨ファームウェアの強制更新: 無効 有効

⑩無線機再起動:

※画面は、表示例です。

※設定内容が変更され、再起動が必要な場合、または再起動中は、太字で表示します。

- ⑤ トークグループ …………… IP100Hが選択しているトークグループ番号を表示します。
※トークグループが選択されていない、またはIP100Hの電源が入っていないなど本製品に接続していない状態では、「-」を表示します。
 - ⑥ 位置情報…………… IP100Hが接続している無線アクセスポイントのBSSIDを表示します。
 - ⑦ <レジスト状態の更新> … IP100H、IP100FSの接続状況、再起動実行時の動作状況確認を更新するとき、クリックします。
 - ⑧ バージョン …………… 本製品に登録したIP100H、IP100FSのバージョン情報を表示します。
※IP100Hの電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「-」を表示します。
 - ⑨ ファームウェアの強制更新 IP100Hのファームウェアを強制的に更新するときは、「有効」を選択して、本製品からIP100Hの再起動(⑩)を実行します。
IP100Hの表示部で「F」表示が点滅し、更新の準備が完了すると、自動的に再起動して、ファームウェアの更新が実行されます。
- The diagram illustrates the process of a firmware update. On the left, a device display shows the time '10/8 16:57' and '営業8'. A small 'F' icon is shown with a '点滅' (flashing) label above it. An arrow points from this display to a box labeled 'Updating' which contains a progress bar.
- ※更新の準備に失敗したとき、IP100Hは再起動しません。
必要に応じて、再起動を実行してください。
 - ⑩ 無線機再起動 …………… <実行>をクリックすると、[選択ボックス](①)欄で指定したIP100Hが一斉に再起動します。

■TRX番号設定

IP100H、IP100FSを新規登録するとき、または設定内容を編集するときに使用します。

※設定変更後は、IP100Hの再起動が必要です。

TRX番号設定

① TRX番号:

② 機種:

③ 名前:

④ 個別番号:

セキュリティー設定

⑤ パスワード:

ポート設定

⑥ 無線機側ポート番号:

⑦ サーバー側ポート番号:

設定グループ

⑧ 設定グループ:

※画面の値は、入力例です。

- ① **TRX番号** 使用するIP100H、IP100FSを登録するために、「1」～「100」の番号を選択します。
最大100台まで登録できます。
※IP1000C #02の場合は、最大20台まで登録できます。
- ② **機種** 登録する機種を「IP100H」、「IP100FS」から選択します。
(出荷時の設定：IP100H)
- ③ **名前** 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
※IP100HがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、IP100Hの画面で正常に表示されません。
- ④ **個別番号** 使用するIP100H、IP100FSの自局番号(個別番号)を4桁で入力します。
設定できる範囲は、「0001～9999」です。(出荷時の設定：0001)
- ⑤ **パスワード** 使用するIP100H、IP100FSが本製品に接続するためのパスワードを、大文字/小文字の区別に注意して、12文字(半角英数字/記号)以内で入力します。
(出荷時の設定：iptrx)
- ⑥ **無線機側ポート番号** 本製品(IP1000C)と収容機器(IP100H)との通信に、IP100Hが使用する通信ポート(UDPポート番号)です。
※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。
※出荷時、TRX番号の「1」には「30000」、「2」には「30002」と、「1」から順に「30000～30198」が割り当てられています。
※設定できる範囲は、「2～59998」の偶数値だけです。
※そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※[機種](②)欄で「IP100FS」を選択したときは、表示されない項目です。

■ TRX番号設定(つづき)

TRX番号設定

① TRX番号:

② 機種:

③ 名前:

④ 個別番号:

セキュリティ設定

⑤ パスワード:

ポート設定

⑥ 無線機側ポート番号:

⑦ サーバー側ポート番号:

設定グループ

⑧ 設定グループ:

※画面の値は、入力例です。

- ⑦ **サーバー側ポート番号** ... 本製品(IP1000C)と収容機器(IP100H、IP100FS)との通信に、本製品が使用する通信ポート(UDPポート番号)です。
IP1000C側として設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用して通信します。
※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。
※出荷時、TRX番号の「1」には「30000」、「2」には「30002」と、「1」から順に「30000～30198」が割り当てられています。
※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
※ほかのIP100H、IP100FSに設定するサーバー側ポート番号と重複できません。
※そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。

- ⑧ **設定グループ** : 本製品に登録するIP100H、IP100FSが所属する設定グループ番号を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「100」です。 (出荷時の設定：1)
共用するアドレス帳やメッセージ、通知音は、所属する設定グループごとに「設定グループ」メニューで設定します。

- ⑨ **登録** [TRX番号設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目に表示されます。

- ⑩ **取消** [TRX番号設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお登録をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー(つづき)

「無線機設定」-「無線機追加」

■TRX番号設定一覧

[TRX番号設定]項目で登録した無線機の設定一覧です。

※[TRX番号設定]項目で登録した内容の編集や削除にも使用します。

※各設定欄の説明は、[TRX番号設定]項目をご覧ください。

① <input type="checkbox"/> すべて	TRX 番号	機種	名前	個別番号	パスワード	ポート番号		設定グループ	アドレス帳 グループ	メッセージ グループ	② 削除
						無線機側	サーバー側				
<input type="checkbox"/>	1	IP100H	営業1	0001	iptrx	30000	30000	1	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	2	IP100H	営業2	0002	iptrx	30002	30002	1	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	3	IP100H	営業3	0003	iptrx	30004	30004	1	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	4	IP100FS	営業4	0004	iptrx	-	30006	1	1	1	削除

③登録 ④取消 ⑤選択削除 ⑥全削除

※画面の値は、設定例です。

- ① **選択ボックス** 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② **削除** クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ **登録** クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目で編集した内容が登録されます。
- ④ **取消** クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目で編集した内容が変更前の状態に戻ります。
※登録をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
- ⑤ **選択削除** クリックすると、[選択ボックス] (①) 欄で選択した番号の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ⑥ **全削除** クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

■TRX番号一括設定

連番で個別番号を一括登録したり、すでに登録した設定内容をほかの個別番号にコピーしたりできます。

TRX番号一括設定	
①個別番号:	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/> ※指定した範囲の連番を個別番号として登録します。
②設定参照元:	初期値 <input type="button" value="▼"/> ※無線機個別設定を初期値で登録します。
③設定グループ:	1 <input type="button" value="▼"/>

- ①個別番号 …………… 連番で一括に登録したい個別番号の範囲を入力します。
〈追加〉
クリックすると、テキストボックスに入力した範囲(例：0004～0010)の個別番号が登録されます。
※入力した範囲で、すでに登録された個別番号がある場合は、「設定を上書きします。」が表示されます。
- ②設定参照元 …………… 出荷時の設定内容(初期値)、またはすでに登録した設定内容を参照するか選択します。
(出荷時の設定：初期値)
- ③設定グループ …………… 本製品に登録するIP100H、IP100FSが所属する設定グループ番号を設定します。
設定できる範囲は、「1」～「100」です。 (出荷時の設定：1)
共用するアドレス帳やメッセージ、通知音は、所属する設定グループごとに「設定グループ」メニューで設定します。

■無線機個別設定

登録されたIP100Hごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP100Hの再起動が必要です。

無線機個別設定

① 個別番号: 0001(営業1)

表示部

② 表示項目: 時計 名前

③ バックライト: 操作時点灯

送信動作

④ 送信禁止: 無効 有効

⑤ PTTロック: 無効 有効

呼出先指定

⑥ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

⑦ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体

⑧ 呼出種別: 全体

受信通知

⑨ 通知音量: 10

⑩ 通知動作: 通知音

通知音(受信通知を除く)

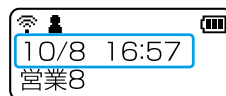
⑪ 通知音量: 10

機能設定

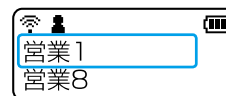
※画面の値は、設定例です。

① **個別番号** 設定内容を編集するIP100Hの個別番号(名前)を選択します。
 ※「無線機追加」画面の「TRX番号設定」項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

② **表示項目** IP100Hの待受画面に時計を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。
 (出荷時の設定：時計)



時計選択時



名前選択時

★「無線機追加」画面の「TRX番号設定」項目で、名前が登録されていない場合は、個別番号(例：0001)が表示されます。

③ **バックライト** IP100H使用時のバックライト機能を設定します。
 (出荷時の設定：操作時点灯)

- ◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
- ◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
- ◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

① 個別番号: 0001(営業1) ▼

表示部

② 表示項目: 時計 名前

③ バックライト: 操作時点灯 ▼

送信動作

④ 送信禁止: 無効 有効

⑤ PTTロック: 無効 有効

呼出先指定

⑥ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

⑦ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体 ▼

⑧ 呼出種別: 全体 ▼

受信通知

⑨ 通知音量: 10 ▼

⑩ 通知動作: 通知音 ▼

通知音(受信通知を除く)

⑪ 通知音量: 10 ▼

機能設定

※画面の値は、設定例です。

- ④ **送信禁止** …………… 送信を禁止して、受信専用としてIP100Hを使用するときを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※送信禁止中は、別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能による送信もできません。
- ⑤ **PTTロック** …………… IP100Hの[PTT(送信)]スイッチによる送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※PTTロック中でも、別売品マイクロホンのスイッチやVOX機能による送信はできます。
- ⑥ **待受画面での呼出** …………… IP100Hが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしな
いかを設定します。
(出荷時の設定：有効)
◎**有効**：待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。
IP100Hの[PTT(送信)]スイッチを押すと、待受画面に表示された相手局(呼出種別)を呼び出します。
◎**無効**：待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。
※「設定グループ」メニュー→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切替は、無効になります。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

① 個別番号: 0001(営業1) ▼

表示部

② 表示項目: 時計 名前

③ バックライト: 操作時点灯 ▼

送信動作

④ 送信禁止: 無効 有効

⑤ PTTロック: 無効 有効

呼出先指定

⑥ 待受画面での呼出: 無効 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

⑦ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体 ▼

⑧ 呼出種別: 全体 ▼

受信通知

⑨ 通知音量: 10 ▼

⑩ 通知動作: 通知音 ▼

通知音(受信通知を除く)

⑪ 通知音量: 10 ▼

機能設定

※画面の値は、設定例です。

⑦アドレス帳からの呼出 …

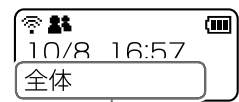


IP100Hでアドレス帳を使用するかどうか設定します。(出荷時の設定:無効)
 ◎有効: IP100Hの[アドレス帳]キーを押すごとに、呼出種別が切り替わります。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体 ▼

全体呼出の表示: 無効 有効

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~50)で指定します。
 ※[待受画面での呼出](P.4-40)が「有効」、
 かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替](P.4-93)が「無効」の場合は、待受画面に相手局として表示されます。



※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。
 ※[全体呼出の表示]欄で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効: [アドレス帳]キーを押しても、呼出種別は[呼出種別](⑧)欄で設定された内容のままです。
 ※「無効」の場合でも、着信時にアドレス帳に登録されている名前がIP100Hの画面に表示されます。

⑧呼出種別 ……………

[アドレス帳からの呼出](⑦)欄を「無効」にした場合、IP100Hから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定します。(出荷時の設定:全体)
 ※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号を4桁の数字で入力します。
 ※[アドレス帳からの呼出](⑦)欄を「有効」にした場合は、[全体呼出の表示]欄に切り替わります。(上図参照)

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

① 個別番号: 0001(営業1)

表示部

② 表示項目: 時計 名前

③ バックライト: 操作時点灯

送信動作

④ 送信禁止: 無効 有効

⑤ PTTロック: 無効 有効

呼出先指定

⑥ 待受画面での呼出: 無効 有効※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

⑦ アドレス帳からの呼出: 無効 有効 アドレス帳先頭番号: 全体

⑧ 呼出種別: 全体

受信通知

⑨ 通知音量: 10

⑩ 通知動作: 通知音

通知音(受信通知を除く)

⑪ 通知音量: 10

機能設定

※画面の値は、設定例です。

- ⑨通知音量 …………… 着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。
- ⑩通知動作 …………… 着信時やメッセージ受信時の通知動作を設定します。
(出荷時の設定：通知音)
- ◎通知音
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音でお知らせします。
- ◎バイブレーション
着信時やメッセージ受信時、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
- ◎通知音+バイブレーション
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音と振動でお知らせします。
- ⑪通知音量
(受信通知を除く) …………… 送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

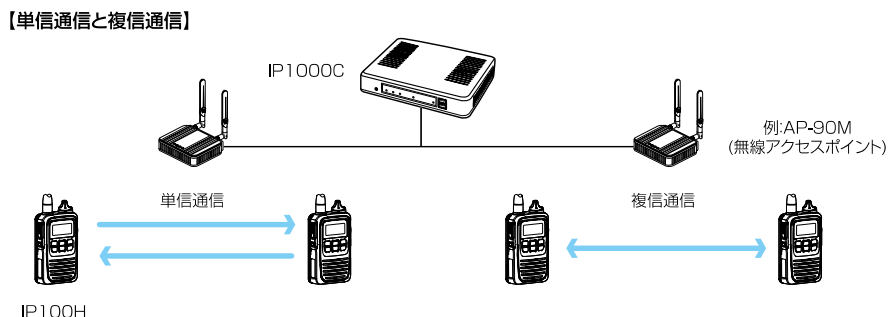
キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

- ⑫通信方式 IP100Hで使用する通信方式を設定します。 (出荷時の設定：複信通信)
- ◎単信通信
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - ◎複信通信
複信は電話のように同時通話できる方式です。
※複信通信が設定されている場合は、IP100Hに別売品のマイクロホンなどを接続することで、相手が送信しているときでも、電話のように同時通話できます。



4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機個別」

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

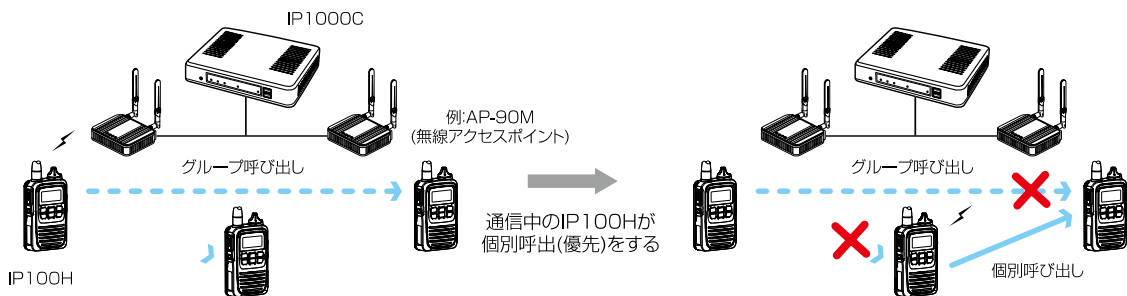
※画面の値は、設定例です。

⑬ **優先呼出** IP100Hに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
 (出荷時の設定：無効)
 呼出種別ごとの優先度は、下記のようになります。

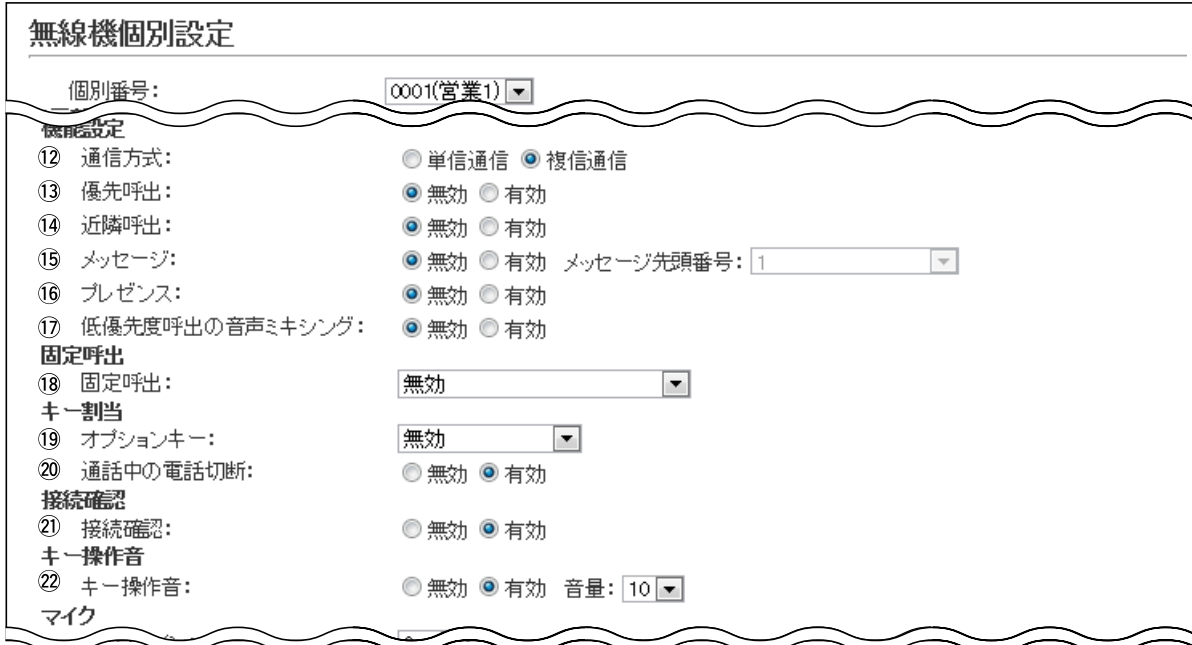
優先度	呼出種別	優先呼出	備考
高 ↑ ↓ 低	電話通信	—	電話通信
	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
	個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
	グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
	全体呼出	無効	近隣呼出も含む
	個別呼出	無効	
	グループ呼出	無効	近隣呼出も含む

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番となります。
 ※着信時の応答は、発信側の優先度にしがいます。

【通信中に相手局を変更した場合】



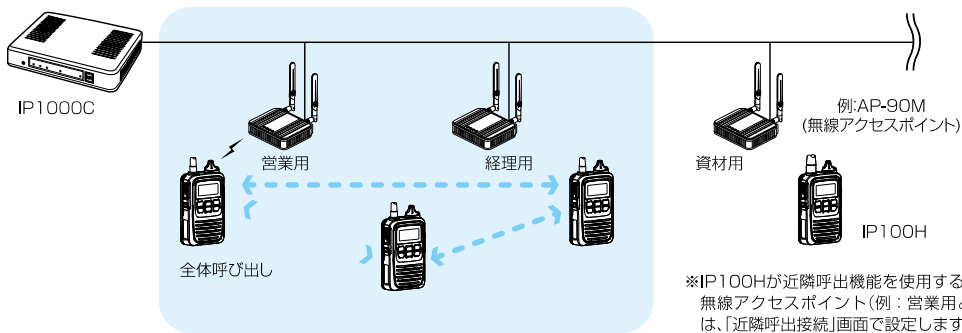
■無線機個別設定(つづき)



※画面の値は、設定例です。

- ⑭ **近隣呼出** 特定のエリアに限定して運用をするときに使用する設定です。
 (出荷時の設定：無効)
 「有効」に設定して、IP100H側で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、IP100Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のIP100Hを呼び出します。

【IP100Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、指定した無線アクセスポイント(例：営業用)と同一エリア内にある無線アクセスポイント(例：経理用)に接続しているIP100Hを呼び出せます。
 ※位置情報で無線アクセスポイントを選択すると、呼出種別(個別/グループ/全体/近隣/電話)と表示名をディスプレイに表示します。

4 設定画面について

8. 「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

⑮ メッセージ

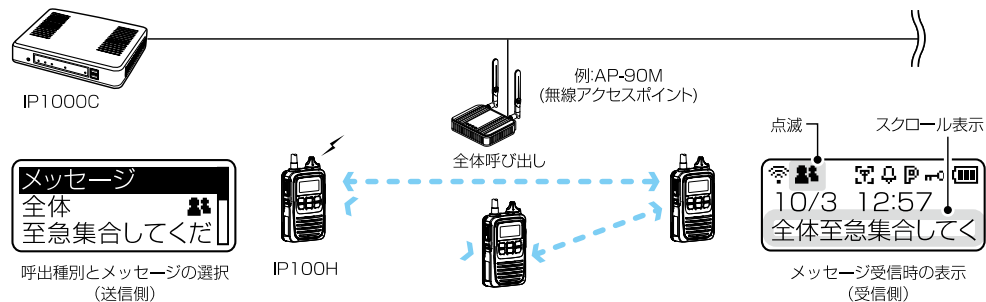
IP100Hでメッセージを送信するときに設定します。(出荷時の設定: 無効)
「有効」を設定すると、IP100Hの[FUNC]キーを押してメッセージを選択できます。

※IP100Hから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

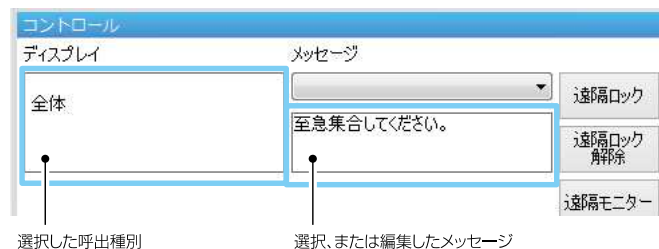
※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

有効 メッセージ先頭番号: 1(至急集合してください。)

【IP100Hからメッセージを送信する場合】



【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機個別」

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

キー操作音

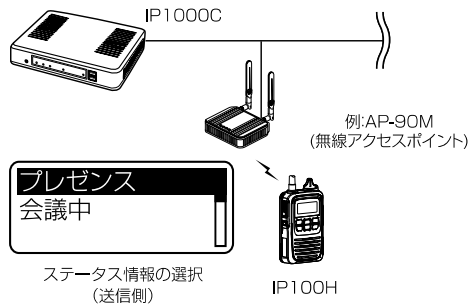
㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

- ⑯ プレゼンス IP100Hからステータス情報(例：会議中)を送信するときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ※IP100Hから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。
- ※「無効」を設定しているときは、IP100Hの[FUNC]キーを押してもプレゼンスを選択できません。
- ※IP100Hから送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP100Hからプレゼンスを送信する場合】



【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】

営業1 0001 [1] 会議中	営業2 0002 [2] 離席中	営業グループ1 0001
------------------------	------------------------	-----------------

名前、個別番号、番号(IP1000Cで登録されたステータス番号)、ステータス情報

【IP1000Cでプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP100H	営業1	0001	接続中	192.168.0.10	会議中	1	00-90-C7-...	Ver. ...
<input type="checkbox"/>	2	IP100H	営業2	0002	接続中	192.168.0.11	休憩中	1	00-90-C7-...	Ver. ...
<input type="checkbox"/>	3	IP100H	営業3	0003	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	4	IP100FS	営業4	0004	未接続	-	-	-	-	-

選択無線機再起動 ファームウェアの強制更新: 無線機再起動:

レジスト状態の更新 無効 有効 実行

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

⑰ 低優先度呼出の音声

ミキシング ……………

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。 (出荷時の設定：無効)

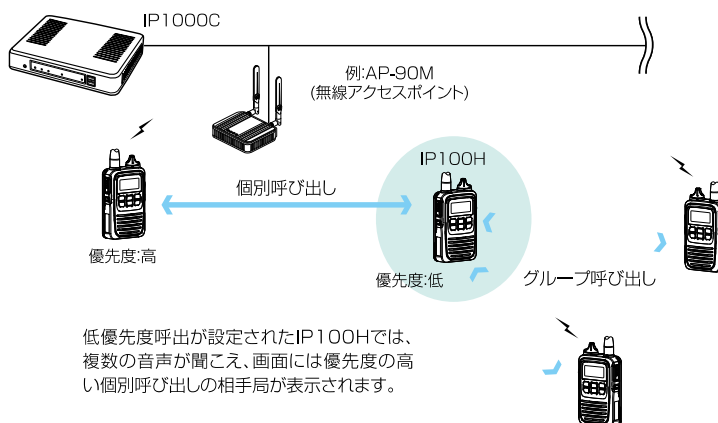
※複数の通話をミキシングしている場合は、IP100Hの画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。

優先度について詳しくは、4-44ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP100Hでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

この場合、IP100Hの画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

12 通信方式: 単信通信 複信通信

13 優先呼出: 無効 有効

14 近隣呼出: 無効 有効

15 メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

16 プレゼンス: 無効 有効

17 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

18 固定呼出: 無効

キー割当

19 オプションキー: 無効

20 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

21 接続確認: 無効 有効

キー操作音

22 キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

18 固定呼出

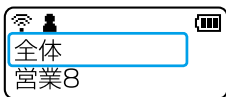
IP100Hの画面(3行目)に表示されている相手ではなく、特定の操作で、あらかじめ指定した別の相手先(呼出種別)を呼び出すときに使用します。

(出荷時の設定: 無効)

通常は別売品マイクロホンで運用し、特定の場合にIP100Hの[PTT(送信)]スイッチを押して相手先を切り替えるというような使いかたができます。

◎ 無効: 固定呼出で送信しないとき

◎ PTT: IP100Hの[PTT(送信)]スイッチで固定呼出をするとき



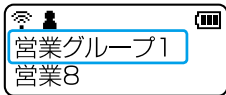
固定呼出「全体」選択時

固定呼出:	PTT
呼出種別:	全体

例: PTTで全体呼び出しをする場合

◎ イヤホンマイクまたはヘッドセット

別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能で固定呼出をするとき



固定呼出「グループ」選択時

固定呼出:	イヤホンマイクまたはヘッドセット
呼出種別:	グループ
呼出先番号:	0001

例: イヤホンマイクまたはヘッドセットでグループ呼び出しをする場合

- ※呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。
- ※[呼出種別]欄で「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号を4桁の数字で入力します。
- ※固定呼出する相手先をIP100Hの画面(通常「日時」を表示している2行目)に常時表示します。
- ※固定呼出を設定したIP100Hでは、受信時に相手先の名前や呼出種別が画面(3行目)に表示されません。
- ※IP100Hの[PTT(送信)]スイッチと別売品マイクロホンのPTTスイッチで同時に送信した場合、IP100H本体マイクからの音声はミュートします。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」→「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定	
個別番号:	0001(営業1) ▼
機能設定	
12 通信方式:	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
13 優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
14 近隣呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
15 メッセージ:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 メッセージ先頭番号: 1 ▼
16 プレゼンス:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
17 低優先度呼出の音声ミキシング:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
18 固定呼出:	無効 ▼
キー割当	
19 オプションキー:	無効 ▼
20 通話中の電話切断:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	
21 接続確認:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
22 キー操作音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 音量: 10 ▼
マイク	

※画面の値は、設定例です。

①9 オプションキー ……………

IP100Hの[オプション]キーに、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択する、または電話を切るなどの機能を割り当てるときに設定します。

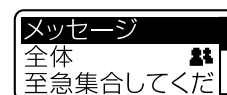
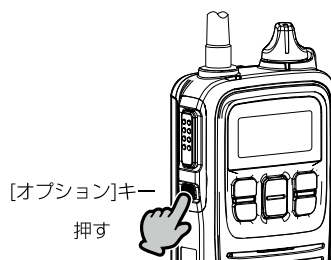
※「無効」を設定しているときは、待受画面で[オプション]キーを押しても何も動作しません。
(出荷時の設定：無効)

◎メッセージ

[オプション]キーを押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。

[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

キー割当	
オプションキー:	メッセージ ▼
メッセージ番号:	1(至急集合してください。) ▼



■ 無線機個別設定

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

⑲ オプションキー

(つづき)

◎ワンタッチ

[オプション]キーを押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。

呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」、「電話」から指定します。

※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号を4桁の数字で入力します。

※「電話」を選択したときは、[呼出先番号]欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字と記号(#、*)で入力します。

キー割当

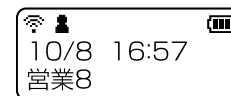
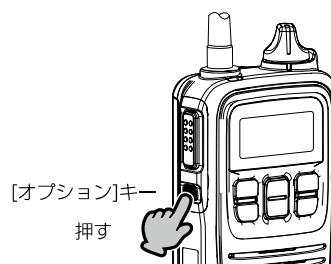
オプションキー: ワンタッチ

呼出種別: 全体

通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

接続確認: 全体 有効



4 設定画面について

8. 「無線機設定」メニュー

「無線機設定」—「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定	
個別番号:	0001(営業1) ▼
機能設定	
12 通信方式:	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
13 優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
14 近隣呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
15 メッセージ:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 メッセージ先頭番号: 1 ▼
16 プレゼンス:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
17 低優先度呼出の音声ミキシング:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
18 固定呼出:	無効 ▼
キー割当	
19 オプションキー:	無効 ▼
20 通話中の電話切断:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	
21 接続確認:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
22 キー操作音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 音量: 10 ▼
マイク	

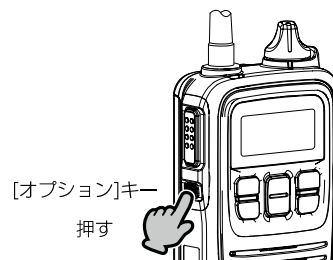
※画面の値は、設定例です。

①9 オプションキー (つづき)

◎電話切断

[オプション]キーを押して、IP100Hから電話を切りたいときに設定します。
※[通話中の電話切断](20)欄を「有効」にして、[オプション]キーに、ほかの機能を割り当てることもできます。

キー割当 オプションキー:	電話切断 ▼
-------------------------	--------



相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP100Hから電話を切れます。
※IP100Hから電話を切れるのは、電話機からIP100Hを個別に呼び出したとき、またはIP100Hから電話機を呼び出したときだけです。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定	
個別番号:	0001(営業1) ▼
機能設定	
12 通信方式:	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
13 優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
14 近隣呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
15 メッセージ:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 メッセージ先頭番号: 1 ▼
16 プレゼンス:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
17 低優先度呼出の音声ミキシング:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
18 固定呼出:	無効 ▼
キー割当	
19 オプションキー:	無効 ▼
20 通話中の電話切断:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	
21 接続確認:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
22 キー操作音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 音量: 10 ▼
マイク	

※画面の値は、設定例です。

19 オプションキー (つづき)

◎受信音声ミュート

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

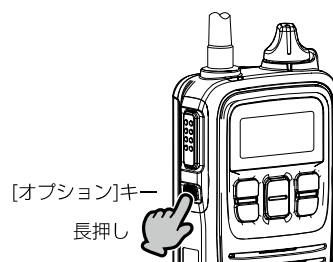
※[オプション]キーを長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[PTT(送信)]スイッチを押しても、ミュート機能を解除できます。

ただし、[通話中の電話切断](20)欄を「有効」にしている場合、電話通話中は切断動作になります。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。(出荷時の設定:無効)
「有効」にして使用するときには、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10~600」(秒)の範囲で設定します。(出荷時の設定:60)

キー割当	
オプションキー:	受信音声ミュート ▼
受信音声ミュート自動解除:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 時間: 60 秒



ミュート時の表示例

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効

キー割当

⑲ オプションキー: 無効

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

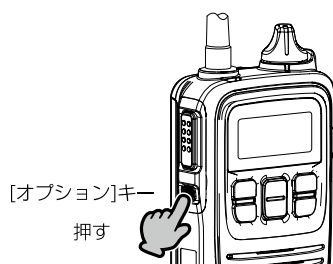
キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10

マイク

※画面の値は、設定例です。

- ⑳ **通話中の電話切断** …………… [オプション]キーを押して、IP100Hから電話を切りたいときに設定します。
 (出荷時の設定: 有効)
 ※[オプションキー](⑲)欄を「電話切断」にした場合は、表示されない項目です。



相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP100Hから電話を切れます。
 ※IP100Hから電話を切れるのは、電話機からIP100Hを個別に呼び出したとき、またはIP100Hから電話機を呼び出したときだけです。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1) ▼

機能設定

⑫ 通信方式: 単信通信 複信通信

⑬ 優先呼出: 無効 有効

⑭ 近隣呼出: 無効 有効

⑮ メッセージ: 無効 有効 メッセージ先頭番号: 1 ▼

⑯ プレゼンス: 無効 有効

⑰ 低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

⑱ 固定呼出: 無効 ▼

キー割当

⑲ オプションキー: 無効 ▼

⑳ 通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

㉑ 接続確認: 無効 有効

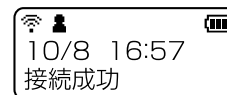
キー操作音

㉒ キー操作音: 無効 有効 音量: 10 ▼

マイク

※画面の値は、設定例です。

- ㉑ **接続確認** IP100Hから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。
 (出荷時の設定：有効)
 「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP100Hの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。



※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
 ※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

- ㉒ **キー操作音** IP100Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
 (出荷時の設定：有効)
- 無効：確認音が鳴りません。
 - 有効：確認音が鳴ります。
 「有効」にして使用するときは、確認音の音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
 (出荷時の設定：10)
- ※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1) ▼

マイク

②③ マイクゲイン: 0 ▼ dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10 ▼

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10 ▼

V/RoIP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS ▼

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

アンテナ設定

※画面の値は、設定例です。

- ②③ **マイクゲイン** マイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定：0)
 設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
 ※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
 また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
- ②④ **モニター** イヤホンマイク(別売品)接続時のモニター機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
- ◎**無効**：モニター機能が動作しません。
- ◎**有効**：モニター機能が動作して、イヤホンから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。
 「有効」にして使用するときには、イヤホンから聞こえる音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。 (出荷時の設定：10)
 ※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、イヤホンから自分の音声は聞こえません。
 ※HM-186LSなどスピーカーマイクでは、ハウリングを起こすことがありますので、モニター機能を「有効」にしないでください。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

マイク

②③ マイクゲイン: 0 dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10

V/RoIP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示: E0

アンテナ設定

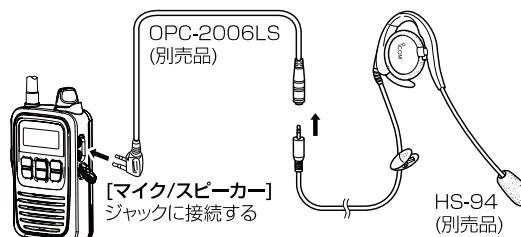
※画面の値は、設定例です。

②⑤ VOX

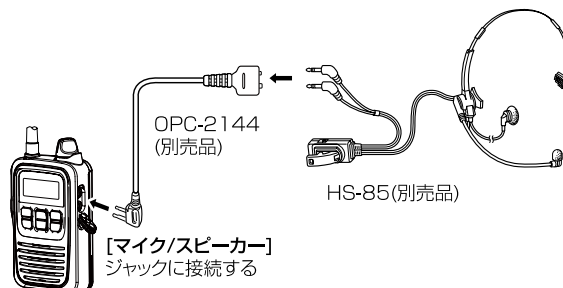
IP100HにVOX機能対応のヘッドセット(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。(出荷時の設定: 無効) 「有効」に設定して、別売品のVOX対応変換ケーブル(OPC-2006LS)と、ヘッドセット(HS-94/HS-95/HS-97/HS-99のいずれか)を接続すると使用できます。

※ケーブルを抜き差しする前に、必ずIP100Hの電源を切ってください。

※「有効」を選択すると、[アタックタイム](②⑥)欄～[側音音量](③⑪)欄が表示されます。



※HS-85(別売品)はVOX機能が内蔵されていますので、IP100Hに接続して使用する場合、[VOX](②⑤)欄を「無効」にしてください。



■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1) ▼

マイク

②③ マイクゲイン: 0 ▼ dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10 ▼

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10 ▼

V/RoIP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS ▼

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

アンテナ設定

※画面の値は、設定例です。

- ②⑥ **アタックタイム** …………… ヘッドセット(別売品)からIP100Hに音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。(出荷時の設定: 50)
 VOX機能有効時
 検知後、送信を開始します。
 設定できる範囲は、「5～500」(5ミリ秒刻み)です。
- ②⑦ **リリースタイム** …………… IP100Hに入力されている音声が増減したと判断する時間を設定します。
 VOX機能有効時
 検知後、送信を停止します。(出荷時の設定: 200)
 設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- ②⑧ **音声遅延** …………… VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。(出荷時の設定: 200)
 VOX機能有効時
 設定できる範囲は、「0～500」(5ミリ秒刻み)です。
- ②⑨ **音声スレッシュ** …………… ヘッドセット(別売品)からIP100Hに音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。(出荷時の設定: 40)
 VOX機能有効時
 設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
 ※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。
- ③⑩ **側音** …………… ヘッドセット(別売品)接続時の側音機能を設定します。(出荷時の設定: 無効)
 VOX機能有効時
 「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

マイク

②③ マイクゲイン: 0 dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10

V/RoP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示: E0

アンテナ設定

※画面の値は、設定例です。

- ③⑩ **側音音量** 側音機能を使用するときの音量を調整します。
VOX機能有効時 設定できる範囲は、「0」(最小)～「32」(最大)です。 (出荷時の設定：10)

- ③② **ジッターバッファ種別** IP100Hが音声を受信したときに、パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。 (出荷時の設定：ダイナミック)

◎スタティック

音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。

設定できる範囲は、「20」(ミリ秒)～「500」(ミリ秒)です。

設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声途切れやすくなります。

V/RoP設定

ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

ジッターバッファサイズ: 40 ミリ秒

TOS種別: TOS

◎ダイナミック

音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

マイク

②③ マイクゲイン: 0 dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10

V/RoIP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

アンテナ設定

※画面の値は、設定例です。

- ③③ TOS種別 IP100HのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：TOS)
- ◎**使用しない**
TOS機能を使用しません。
 - ◎**TOS**
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎**Diffserv**
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1)

マイク

②③ マイクゲイン: 0 dB

イヤホンマイク

②④ モニター: 無効 有効 音量: 10

ヘッドセット

②⑤ VOX: 無効 有効

②⑥ アタックタイム: 50 ミリ秒

②⑦ リリースタイム: 200 ミリ秒

②⑧ 音声遅延: 200 ミリ秒

②⑨ 音声スレッシュ: 40 %

③⑩ 側音: 無効 有効

③⑪ 側音音量: 10

V/RoIP設定

③② ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

③③ TOS種別: TOS

③④ メディア(RTP): 優先度 7 サービスタイプ 0 16進表示:E0

アンテナ設定

※画面の値は、設定例です。

③④ メディア(RTP) ……………

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※[TOS種別](③③)欄で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

◎優先度

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定: 7)

優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定: 0)

◎DSCP

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定: 56)

※[TOS種別](③③)欄で「Diffserv」を選択したときに、表示される項目です。

V/RoIP設定

ジッターバッファ種別: スタティック ダイナミック

TOS種別: Diffserv

メディア(RTP): DSCP 56 16進表示:E0

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号:

アンテナ設定

③⑤ アンテナ種別:

IPアドレス設定

③⑥ 設定方法:

保守設定

③⑦ 保守サーバー:

③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効

③⑨ SNMPサーバー:

④⑩ 起動時のファームウェア自動更新:

④① ファームアップサーバー:

④② SYSLOGホストアドレス:

④③ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

※画面の値は、設定例です。

- ③⑤ **アンテナ種別** …………… IP100Hで使用するアンテナについて設定します。
 (出荷時の設定：無線機の設定優先)
- ◎無線機の設定優先
 導入時は、CS-IP100Hで設定された内容を使用しますが、IP1000C側で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。
 - ◎内部アンテナ
 下記のようなときに、IP100Hの内部アンテナを使用します。
 - ◎IP100Hから送信される電波が届く範囲を狭めたいとき
 - ◎通信エリアを制限してセキュリティーを高めたいとき
 - ◎突起物がない状態で使いたいとき
 - ◎外部アンテナ
 送信される電波を広範囲に届けたいときに、外部アンテナ(IP100H付属品)を接続して使用します。

(次ページにつづく)

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」→「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1) ▼

アンテナ設定
③⑤ アンテナ種別: 無線機の設定優先 ▼

IPアドレス設定
③⑥ 設定方法: 無線機の設定優先 ▼

保守設定
③⑦ 保守サーバー:
③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効
③⑨ SNMPサーバー:
④⑩ 起動時のファームウェア自動更新: 有効(自動再起動有り) ▼
④⑪ ファームアップサーバー:
④⑫ SYSLOGホストアドレス:
④⑬ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

④④ 登録 ④⑤ 取消

※画面の値は、設定例です。

③⑤ アンテナ種別(つづき) ...

【通信距離について】

IP100Hの内部アンテナと外部アンテナ★1では、通信距離が異なります。
下記の見通し距離を目安にご使用ください。

IP100Hのアンテナ設定

	内部アンテナ	外部アンテナ
2.4GHz帯	100m	210m
5GHz帯	90m	190m

※設置する環境や条件などにより、通信距離は異なります。

※弊社製無線アクセスポイントAP-80M、またはAP-90M★2の無線2(外部アンテナ側)と通信した場合の距離です。

★1 お使いになる製品によっては、ショートアンテナが付属されています。
ショートアンテナでご使用になる場合、IP100H取扱説明書に記載の付属品(標準アンテナ)に比べて、通信距離が短くなります。

★2 AP-90Mの無線1(内蔵アンテナ側)を使用する場合、無線2(外部アンテナ側)に比べて、通信距離が短くなります。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号:

アンテナ設定
 ③⑤ アンテナ種別:

IPアドレス設定
 ③⑥ 設定方法:

保守設定
 ③⑦ 保守サーバー:
 ③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効
 ③⑨ SNTPサーバー:
 ④⑩ 起動時のファームウェア自動更新:
 ④① ファームアップサーバー:
 ④② SYSLOGホストアドレス:
 ④③ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

※画面の値は、設定例です。

③⑥ 設定方法

IP100HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：無線機の設定優先)

◎無線機の設定優先

導入時は、CS-IP100Hで設定された内容を使用しますが、IP1000C側で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

IPアドレス設定

設定方法:

プライマリーDNSサーバー:

セカンダリーDNSサーバー:

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

(次ページにつづく)

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」-「無線機個別」

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号: 0001(営業1) ▼

アンテナ設定
③⑤ アンテナ種別: 無線機の設定優先 ▼

IPアドレス設定
③⑥ 設定方法: 無線機の設定優先 ▼

保守設定
③⑦ 保守サーバー:
③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効
③⑨ SNMPサーバー:
④⑩ 起動時のファームウェア自動更新: 有効(自動再起動有り) ▼
④① ファームアップサーバー:
④② SYSLOGホストアドレス:
④③ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

④④ 登録 ④⑤ 取消

※画面の値は、設定例です。

③⑥ 設定方法(つづき) ……………

◎ 固定IP

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

IPアドレス設定

設定方法: 固定IP ▼

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

プライマリーDNSサーバー:

セカンダリーDNSサーバー:

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号:

アンテナ設定

③⑤ アンテナ種別:

IPアドレス設定

③⑥ 設定方法:

保守設定

③⑦ 保守サーバー:

③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効

③⑨ SNTPサーバー:

④⑩ 起動時のファームウェア自動更新:

④⑪ ファームアップサーバー:

④⑫ SYSLOGホストアドレス:

④⑬ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

※画面の値は、設定例です。

- ③⑦ 保守サーバー IP100Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
 入力は、半角英数字で63文字までです。
 ※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- ③⑧ 保守サーバー以外からの再起動 保守サーバー(③⑦)として指定した機器以外から、IP100Hを再起動させるかどうかを設定します。 (出荷時の設定：無効)
 ※2016年1月現在、IP1000C以外に対応した製品はありません。
- ③⑨ SNTPサーバー IP100HのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
 ※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

■無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号:

アンテナ設定
 ③⑤ アンテナ種別:

IPアドレス設定
 ③⑥ 設定方法:

保守設定
 ③⑦ 保守サーバー:

③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効

③⑨ SNMPサーバー:

④⑩ 起動時のファームウェア自動更新:

④① ファームアップサーバー:

④② SYSLOGホストアドレス:

④③ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

※画面の値は、設定例です。

④⑩ 起動時のファームウェア 自動更新

本製品からIP100Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
 (出荷時の設定：有効(自動再起動有り))

◎無効

本製品によるIP100Hのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し)

IP100Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP100Hはファームウェアを取得します。IP100Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り)

IP100Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP100Hはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP100Hが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP100Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

④① ファームアップサーバー

IP100Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

■ 無線機個別設定(つづき)

無線機個別設定

個別番号:

アンテナ設定
 ③⑤ アンテナ種別:

IPアドレス設定
 ③⑥ 設定方法:

保守設定
 ③⑦ 保守サーバー:

③⑧ 保守サーバー以外からの再起動: 無効 有効

③⑨ SNMPサーバー:

④⑩ 起動時のファームウェア自動更新:

④① ファームアップサーバー:

④② SYSLOGホストアドレス:

④③ SYSLOG送信レベル: DEBUG INFO NOTICE

※画面の値は、設定例です。

- ④② **SYSLOGホストアドレス** IP100HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
 ※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。
- ④③ **SYSLOG送信レベル** …… [SYSLOGホストアドレス](④②)欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE) ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
- ④④ **〈登録〉** …………… [無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。
- ④⑤ **〈取消〉** …………… [無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

8.「無線機設定」メニュー

「無線機設定」―「無線機個別」

■無線機個別設定一覧

[無線機個別設定]項目で登録した内容の一覧です。

登録内容を編集、確認するときは、[無線機個別設定]項目で[個別番号(名前)]を選択します。

無線機個別設定一覧

機種	名前	個別番号	アドレス帳からの呼出	近隣呼出	メッセージ	プレゼンス	オプションキー
IP100H	営業1	0001	有効	有効	有効	有効	ワンタッチ
IP100H	営業2	0002	有効	有効	有効	有効	メッセージ
IP100H	営業3	0003	有効	有効	有効	有効	メッセージ

※画面は、表示例です。

■無線LAN設定

IP100Hの無線LANに関する共通項目の設定を登録します。

※「設定グループ詳細」画面で、IP100Hが所属する設定グループごとに、無線LAN設定を指定できます。

※設定内容を変更した場合は、IP100Hの再起動が必要です。

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号:

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証:

⑤暗号化方式:

PSK(Pre-Shared Key):
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g):

⑧パワーレベル:

⑨ローミング閾値: dBm

※画面の値は、入力例です。

- ①番号 IP100Hが所属する設定グループで共用する無線LAN設定を登録するために、「1」～「20」の番号を選択します。
最大20件まで登録できます。
- ②名前 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
- ③SSID 無線アクセスポイントに設定されたSSIDを、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力します。
 ※[SSID]は、無線ネットワークのグループ分けをするために使用します。
 [SSID]の異なる無線LAN機器とは接続できません。
 ※無線アクセスポイントが無線伝送エリア内に複数存在しているような場合、個々の無線ネットワークグループを[SSID(無線ネットワーク名)]で識別できます。
 ※弊社以外の無線LAN機器では[ESSID]と表記されている場合があります。
 [SSID]と[ESSID]は、同じ意味で使用しています。

■無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号:

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証:

⑤暗号化方式:

PSK(Pre-Shared Key):
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g):

⑧パワーレベル:

⑨ローミング閾値: dBm

※画面の値は、入力例です。

- ④ ネットワーク認証 無線アクセスポイントに設定されたネットワーク認証方式を選択します。
(出荷時の設定：オープンシステム・共有キー)
 ※異なる認証方式の相手とは互換性がないため、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【認証方式について】

- ◎ **オープンシステム・共有キー：**
無線アクセスポイントにアクセスするとき、「オープンシステム」と「共有キー」を自動認識しますので、無線アクセスポイントと暗号鍵(キー)が同じであれば通信できます。
- ◎ **オープンシステム：**
無線アクセスポイントにアクセスするとき、暗号鍵(キー)の認証をしません。
- ◎ **WPA-PSK・WPA2-PSK：**
「WPA-PSK」認証と「WPA2-PSK」認証を自動認識します。

【ネットワーク認証と暗号化方式の対応について】

	オープンシステム	オープンシステム・共有キー	WPA-PSK WPA2-PSK
なし	○	○	×
WEP RC4	○	○	×
TKIP・AES	×	×	○

■ 無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号:

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証:

⑤暗号化方式:

PSK(Pre-Shared Key):
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g):

⑧パワーレベル:

⑨ローミング閾値: dBm

※画面の値は、入力例です。

- ⑤ 暗号化方式 無線アクセスポイントに設定された暗号化方式を選択します。
 (出荷時の設定：なし)
 対応する暗号化方式は、「WEP RC4」、「TKIP・AES」です。
 ※異なる暗号化方式の相手とは互換性がありませんので、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【暗号化方式について】

◎なし

データを暗号化しないで通信します。

※[ネットワーク認証](④)欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

※[IEEE802.11n/a/b/g]規格に準拠します。

◎WEP RC4

無線通信で古くから使用されている弱い暗号化方式です。

※暗号鍵(キー)の長さは、64(40)/128(104)ビットの中から選択できます。

※[ネットワーク認証](④)欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

※[IEEE802.11a/b/g]規格に準拠します。

◎TKIP・AES

無線LAN端末からのアクセスに対して、「TKIP」と「AES」を自動認識します。

※[ネットワーク認証](④)欄で、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに使用できます。

※「AES」は、無線通信で標準的に使われている強力な暗号化方式です。

※「AES」が認識されたときだけ、[IEEE802.11n]規格で通信できます。

4 設定画面について

9. 「設定グループ」メニュー

「設定グループ」- 「無線LAN」

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号: 1

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証: WPA-PSK・WPA2-PSK

⑤暗号化方式: TKIP・AES

PSK(Pre-Shared Key): 00000000
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g): 自動(1-13)

⑧パワーレベル: 高

⑨ローミング閾値: -75 dBm

⑩登録 ⑪取消

※画面の値は、入力例です。

⑤ 暗号化方式(つづき) ………

【WEPキーについて】

無線アクセスポイントに設定された暗号鍵(キー)を入力します。

ネットワーク認証: オープンシステム・共有キー

暗号化方式: WEP RC4 64(40)

WEPキー: 0000000000

※[ネットワーク認証] (④)欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに設定できます。

※「0～9」、および「a～f(またはA～F)」の16進数、またはASCII文字で、半角入力してください。

※入力する暗号鍵(キー)の桁数は、[暗号化方式]欄を設定したとき表示される桁数(10桁の表示例: 0000000000)と同じに設定してください。

ASCII文字で入力する場合は、16進数の半分(例: 5文字)で入力してください。

【PSK(Pre-Shared Key)について】

無線アクセスポイントで設定した共有鍵(キー)を半角英数字で入力します。

ネットワーク認証: WPA-PSK・WPA2-PSK

暗号化方式: TKIP・AES

PSK(Pre-Shared Key): 00000000
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

※[ネットワーク認証] (④)欄で、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに設定できます。

※同じ暗号化方式を使用する相手と、同じ共有鍵(キー)を設定してください。

※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、大文字/小文字の区別にご注意して、8文字～63文字を入力してください。

4 設定画面について

9.「設定グループ」メニュー

「設定グループ」-「無線LAN」

■無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号: 1

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証: WPA-PSK・WPA2-PSK

⑤暗号化方式: TKIP・AES

PSK(Pre-Shared Key): 00000000
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード:
 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g): 自動(1-13)

⑧パワーレベル: 高

⑨ローミング閾値: -75 dBm

⑩登録 ⑪取消

※画面の値は、入力例です。

⑥スキャンモード ……………

IP100Hで使用する無線LAN規格を設定します。

ここで設定した無線LAN規格の無線アクセスポイントに接続すると、通信できます。(出荷時の設定: 11g、

11a (W52 W53 W56))

※チェックマークを入れた無線LAN規格のチャンネルが、自動設定するチャンネルの検索範囲になります。

※5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されます。

5GHz帯を屋外で使用される場合は、11a(W56)だけにチェックマークを入れてください。

⑦通信チャンネル(11g) …

IP100Hで2.4GHz帯(11g)を使用する場合に、スキャンするチャンネルを設定します。(出荷時の設定: 自動(1-13)

「自動(1-13)」、「自動(1,5,9,13)」、「固定」から選択します。

【特定のチャンネルを指定する場合は】

[通信チャンネル(11g)]欄で「固定」を選択して、[固定チャンネル(11g)]欄から使用するチャンネル(1~13)を指定します。

スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル(11g): 固定

固定チャンネル(11g): 1

パワーレベル: 1

ローミング閾値: 1 dBm

無線LAN設定一覧

番号	名前	SSID
1	営業用	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		WAVEMASTER
13		

■無線LAN設定(つづき)

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

①番号:

②名前:

③SSID:

④ネットワーク認証:

⑤暗号化方式:

PSK(Pre-Shared Key):
半角英数字で8-63文字、もしくは16進数で64桁を入力

⑥スキャンモード: 11g
 11a (W52 W53 W56)

⑦通信チャンネル(11g):

⑧パワーレベル:

⑨ローミング閾値: dBm

※画面の値は、入力例です。

- ⑧ **パワーレベル** …………… IP100Hの送信出力を、高/中/低(3段階)の中から選択します。
(出荷時の設定：高)
 IP100Hの最大伝送距離は、パワーレベルが「高」の場合です。
 パワーレベルを低くすると、伝送距離も短くなります。

【パワーレベルを低くする目的について】

 - ◎IP100Hから送信される電波が広範囲に届くのを軽減したいとき
 - ◎通信エリアを制限してセキュリティを高めたいとき
 - ◎比較的狭いエリアに複数台の無線アクセスポイントが設置された環境で、
 近くの無線LAN機器との電波干渉をなくして、通信速度の低下などを軽減したいとき
- ⑨ **ローミング閾値** …………… IP100Hがローミングを開始する受信信号強度を、「-1」～「-100」(dBm)から選択します。
(出荷時の設定：-75)
 設定値が大きい(例：-65)ほどローミングしやすく、設定値が小さい(例：-85)ほどローミングしにくくなります。
- ⑩ **登録** …………… [無線LAN設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
 クリックすると、[無線LAN設定一覧]項目に表示されます。
- ⑪ **取消** …………… [無線LAN設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお「登録」をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

9.「設定グループ」メニュー(つづき)

「設定グループ」-「無線LAN」

■無線LAN設定一覧

[無線LAN設定]項目で登録した内容を表示します。

番号	名前	SSID	①	②
1	営業用	XXXXXXXXXXXXXX	編集	削除
2	総務用	XXXXXXXXXXXXXX	編集	削除

③ 全削除

※画面の値は、入力例です。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[無線LAN設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

4 設定画面について

9.「設定グループ」メニュー(つづき)

「設定グループ」-「アドレス帳」

■アドレス帳グループ設定

IP100Hが使用するアドレス帳を登録するときに使用します。

※「設定グループ詳細」画面で、IP100Hが所属する設定グループごとに、アドレス帳を指定できます。

※設定内容を変更した場合は、IP100Hの再起動が必要です。

アドレス帳グループ設定

アドレス帳グループ番号: ※変更すると、表示するアドレス帳のグループが変更されます。

アドレス帳グループ番号……

IP100Hが使用するアドレス帳を登録するために、「1」～「100」の番号を選択します。

最大100件までグループを登録できます。

※グループに名前や呼出先番号が登録されているときは、下図のように表示されます。

アドレス帳グループ番号:

■アドレス帳グループ詳細設定

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループに任意の名称を登録します。

アドレス帳グループ詳細設定

①名前:

② ③

①名前 …………… 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
※「アドレス帳」画面と「設定グループ詳細」画面で、グループを選択すると入力した名前が表示されます。

②〈登録〉 …………… [アドレス帳グループ詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

③〈取消〉 …………… [アドレス帳グループ詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

■ アドレス帳設定の保存と書き込み

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループのアドレス帳をファイルに保存したり、保存したファイルを本製品に書き込んだりします。

※設定内容を変更した場合は、IP100Hの再起動が必要です。

アドレス帳設定の保存と書き込み(営業部)

①保存したファイルを書き込む:
CSV形式のファイルが書き込みできます。
ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。

②ファイルに保存する: tn01_id_list001.csvで保存されます。

※上図は、[アドレス帳グループ設定]項目(P.4-77)でグループ番号「1」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

① 保存したファイルを

書き込む ……………

[ファイルに保存する] (②) 欄の操作で保存したアドレス帳ファイル(拡張子：csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

ファイルの保存先を指定するため、〈参照...〉をクリックします。

表示された画面で目的のファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。

テキストボックスに保存先を指定後、〈書き込み〉をクリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目にその内容を書き込みます。

※書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。

※「管理」メニューの「設定の保存/復元」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、上書きされますのでご注意ください。

※[ファイルに保存する] (②) 欄の操作で保存した状態のファイル、および4-79ページの書式で編集したファイル以外のインポートは、保証対象外になります。

② ファイルに保存する ……

[アドレス帳設定一覧]項目に表示された内容をアドレス帳ファイルとして、パソコンに保存します。

〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、アドレス帳ファイル(拡張子：csv)として保存できます。

※ファイル名は、[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループ番号に応じて変わります。

たとえば、テナント1のグループ1を選択したときのファイル名は、tn01_id_list001.csvになります。

■ アドレス帳設定の保存と書き込み(つづき)

アドレス帳ファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.4-78)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

「アドレス帳ファイル」(拡張子: csv)の書式

```

① #, IP1000C, アドレス帳設定, 設定保存ファイル
#, Firm Ver.      , ,
#, File Ver.     , ,
#グループ名, "営業部"
#番号, 名前, 呼出種別(indi=個別, group=グループ, tel=電話), 呼出先番号(個別, グループ), 呼出先番号(電話), トークグループ
1, "個別0001", "indi", "0001", "", "0"
2, "個別0002", "indi", "0002", "", "0"
3, "個別0003", "indi", "0003", "", "0"
4, "グループ10", "group", "0010", "", "0"
5, "IP500H_11", "indi", "00011", "", "0"
6, "IP500H_12", "indi", "00012", "", "0"
7, "IP500H_13", "indi", "00013", "", "0"

```

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ①グループ名 : 半角31(全角15)文字以内
- ②番号 : 1～50 ※重複しない番号を入力
- ③名前 : 半角32(全角16)文字以内
 ※IP100HがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
 ※環境依存文字を入力しないでください。
 環境依存文字を使用すると、IP100Hの画面で正常に表示されません。
- ④呼出種別 : 個別 indi、グループ group、電話 tel
- ⑤呼出先番号(個別、グループ): 半角数字4桁
- ⑥呼出先番号(電話) : 半角数字/記号(#、*)31桁以内
- ⑦トークグループ : 無効 0、有効 1

■アドレス帳設定

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループにアドレス帳を登録します。

※グループごとに、最大50件まで登録できます。

アドレス帳設定(営業部)

①登録方法: 個別入力 一覧から選択

②番号: 1 ▾

③名前:

④呼出種別: 個別 ▾

⑤呼出先番号: 0001

※上図は、[登録方法]欄で「個別入力」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

- ① **登録方法** アドレス帳に通話相手を登録する方法を、「個別入力」、「一覧から選択」から選択します。

登録方法: 個別入力 一覧から選択

<input type="checkbox"/> すべて	名前	呼出種別	呼出先番号
<input checked="" type="checkbox"/>	営業1	個別	0001
<input checked="" type="checkbox"/>	営業2	個別	0002
<input checked="" type="checkbox"/>	営業3	個別	0003
<input checked="" type="checkbox"/>	営業4	個別	0004
<input checked="" type="checkbox"/>	営業グループ1	グループ	0101
<input checked="" type="checkbox"/>	トークグループ1001	トークグループ	1001
<input checked="" type="checkbox"/>	500(VP-701)	電話	500

※「一覧から選択」をクリックすると、「無線機追加」画面や「呼出先設定」画面で登録した呼出先番号が一覧で表示されます。(上図参照)

※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。

- ② **番号** 個別入力時、アドレス帳に通話相手を登録するために、「1」～「50」の番号を選択します。
最大50件まで登録できます。

- ③ **名前** 個別入力時、任意の名称を、半角32(全角16)文字以内で入力します。
※IP100HがUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、IP100Hの画面で正常に表示されません。

- ④ **呼出種別** 個別入力時、通話相手の種別を、「個別」、「グループ」、「トークグループ」、「電話」から選択します。

- ⑤ **呼出先番号** 個別入力時、個別番号、グループやトークグループの番号を4桁の数字で入力します。
※[呼出種別](④)欄で「電話」を選択したときは、相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。

4 設定画面について

9. 「設定グループ」メニュー

「設定グループ」-「アドレス帳」

■ アドレス帳設定(つづき)

アドレス帳設定(営業部)

①登録方法: 個別入力 一覧から選択

②番号: 1 ▼

③名前:

④呼出種別: 個別 ▼

⑤呼出先番号: 0001

⑥登録 ⑦取消

※上図は、[登録方法]欄で「個別入力」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

- ⑥<登録> [アドレス帳設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目に表示されます。
- ⑦<取消> [アドレス帳設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 設定画面について

9.「設定グループ」メニュー(つづき)

「設定グループ」-「アドレス帳」

■アドレス帳設定一覧

[アドレス帳設定]項目で登録した内容を表示します。

番号	名前	呼出種別	呼出先番号		
1	営業1	個別	0001	① 編集	② 削除
2	営業2	個別	0002	編集	削除
3	営業グループ1	グループ	0101	編集	削除
					③ 全削除

※画面の値は、入力例です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

- ①<編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[アドレス帳設定]項目に表示されます。
- ②<削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③<全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

【本製品に登録されていない呼出先番号を登録した場合】

「無線機追加」画面や「呼出先設定」画面に登録されていない呼出先番号を、アドレス帳に登録すると、[アドレス帳設定一覧]項目にエラーとして赤字で表示されます。

※呼出種別が「電話」の場合、デフォルト発信ブリッジ番号(P.4-96)が設定されているときは、エラーにはなりません。

番号	名前	呼出種別	呼出先番号		
4	営業4	個別	1004	編集	削除
					全削除

※TRX番号設定と呼出先設定で有効な設定がありません。

※「TOP」画面、「呼出先設定」画面、設定メニュー(x)にも、エラー情報が表示されます。